

普光寺川の浚渫について

一般質問



織部 徹 議員
(21 政会)

問 近年、気象の変化が激しく、想像を絶するほどの雨が降り、川も大変な水量になることがある。また、その雨で山からの土砂・大きな石・ごみなどが流れてきて、川はすごい状況となることが考えられる。

普光寺川で河内町・甲和泉町・乙和泉町・野上町のあたりは土砂が大量に積もり、葦や柳の木などが生えてかなりひどい状況になっていますが、その認識についてはいかがか。

答 河川内の堆積土砂の撤去の基準は、原則、通常水が流れる断面の約3割を超えて土砂が堆積をしているのが目安となっています。

現在の普光寺川は、判断基準となる3割を超えてないことを確認していますが、状況によっては浚渫が必要になる場所があることは十分に認識しています。また、景観上の支障なども考えて、地元要望に基づいて撤去の判断をしたいとの報告を受けています。

問 実際に浚渫の要望が市を通して県へ出た場合には、「3割を超えないと難しい」という点について、区長さんに説明されておられるのか。

答 要望が挙げた段階で、関係区長さんに説明されています。

問 普光寺川の浚渫に対する県土木の計画はどうなっているか。

答 年次計画はなく、現場を確認した上で、河川断面の3割を超えている場合に判断していくとのこと。ただ、堤防の状況や形態によっても、いろいろな場合があるため、状況を見ながら、その都度判断していくものと聞いています。

要望 放っておいたために洪水を引き起こすこともあるため、ぜひとも浚渫をお願いしたい。

■その他の質問項目

- ・下滝野市川線の道路整備について
- ・北条高校活性化事業について

根日女の森構想について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 未来型児童館が玉丘史跡公園に設置される場合、美術館や博物館などが根日女の森整備構想の施設として併設される可能性はあるのでしょうか。

答 今後、未来型児童館の設置場所や施設内容の具体化が進む中で、根日女の森構想の機能や利用者の利便性などの面で、併設による相乗効果が明らかになっていくと考えており、その段階で、施設の役割分担、連携すべき機能、内容、立地の検討もあわせて進める予定です。

問 玉丘史跡公園は大型遊具ができ、以前より随分賑やかにはなってきたが、市内外からもっと大勢の人が集まるような公園にしていくべきと考えるのはいかがか。

答 (教育長) 優れた歴史的空間があり、教育と観光の両面に役立つと考えています。また、平成29年4月にはフラワーセンターに県立考古博物館分館がオープンを予定しており、ネットワーク化によって観光客が増えるように努めたいと考えています。

さらに、幼稚園保護者や子育て支援施設等の利用者を対象とした児童館設置場所のアンケートでも、約半数の方が玉丘史跡公園を希望されており、それを踏まえながら整備を検討していきたいと考えています。

問 今後の玉丘史跡公園の活用について。

答 (市長) 播磨国風土記1300年祭の目的は大きく3つあり、①加西の再発見、②加西の創生・創造、③加西の発信です。

これらを体現できるような施設として、今アイデアが結集してきているように思います。ただ私としては、場所や内容を含めて決めつける気はなく、市民の皆さんのアイデアを結集してよいものを創りたいと思います。根日女の森整備構想の発展や鶉野の整備、そして、北条の市街地を魅力ある地域にする事が重要だと考えています。

■その他の質問項目

- ・基幹道路の整備について
- ・加西市内の工業用地の供給について
- ・北条高校の活性化について